

## ひざ関節変形には抗炎症・利尿の薬を

**Q** 五十五歳、女性。身長一五四cm、体重六五kg。茶道を教えてくださいが、八年前から階段を下りるときにひざの痛みを感じ、整形外科で変形性膝(しつ)関節症との診断を受けました。ふだんは消炎剤を服用し、水がたまと抜いてもらっています。手術をしないで済む方法がありますか。(検査資料略)

**A** ひざの痛みは茶道や華道など正座を長時間強いられる女性の方に共通の悩みである。特に更年期以降、骨の老化とともにひざ関節の摩擦も激しくなる。これが変形性膝関節症といわれる病気である。ひどくなると手術などの方法が選択される。

質問者は身長一五四cm、体重六五kgと肥満気

味で、漢方でいう「水はけの悪い」タイプである。このタイプの方によく効く漢方薬は、防己黄耆湯(ぼういおうぎとう)である。防己はシノメニンという抗炎症・利尿作用のある成分を含み、ひざの痛みや水を取る抜群の働きがある。最高血圧は一二〇ミリと高くないから、越婢加朮湯(えっぴかじゅつとう)や薏苡仁湯(よくいにとう)という麻黄(まおう)の入った処方を用いると、炎症作用や水分代謝の調節がさらにうまくいく。

胃腸の弱いやせ型のタイプには、桂枝加苓朮附湯(けいしかりようじゅつぶとう)という薬がよい。この病気は一般に「老化だからいたわって付き合っていくしかない」と説明されるが、漢方薬の効果が期待できる病気である。